



うめ

Yamamoto Acc office



# 山本総合会計ニュース

編集発行人  
税理士

山本孝久

〒152-0003  
東京都目黒区碑文谷5-12-1  
TS碑文谷ビル2F  
TEL 03 (3791) 8863  
FAX 03 (3791) 8292

## ◆ 2月の税務と労務

2月

(如月) FEBRUARY

11日・建国記念の日

- 国 税 / 平成27年分所得税の確定申告  
2月16日～3月15日  
(還付申告は申告期間前でも受け付けられます)
- 国 税 / 贈与税の申告  
2月1日～3月15日
- 国 税 / 1月分源泉所得税の納付  
2月10日
- 国 税 / 12月決算法人の確定申告(法人税・消費税等)  
2月29日
- 国 税 / 6月決算法人の中間申告  
2月29日
- 国 税 / 3月、6月、9月決算法人の消費税等の中間申告  
(年3回の場合)  
2月29日
- 国 税 / 決算期の定めのない人格なき社団等の法人  
税の確定申告及び納付  
2月29日

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	.	.	.	.	.

地方税 / 固定資産税(都市計画税)の第4期分の納付  
市町村の条例で定める日



**振替納税** 金融機関の預貯金口座から自動的に納税が行われる方法。振替日は法定納期限より遅く、平成27年分確定申告の振替日は、申告所得税・復興特別所得税が平成28年4月20日、個人事業者の消費税・地方消費税が同年4月25日です。ただし、残高不足で振替納税できない場合は、法定納期限の翌日から延滞税がかかるので注意が必要です。

# コンパクトシティ

## コンパクトシティとは

人口の急激な減少と急速に進む高齢化に対応するため、高齢者や子育て世代にとって健康で快適な生活環境を実現することが、日本の大きな課題となっています。この課題に対して、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」という考え方が重要になります。

コンパクトシティ・プラス・ネットワークとは、福祉や交通などを含めた都市全体の構造を見直す際の考え方で、医療や福祉施設、商業施設と住居などをひとまとまりにして立地させることです。住民が公共交通機関を利用してこれらの施設にアクセスできるようになります。

## 立地適正化計画

昨年、コンパクトシティ実現のために都市再生特別措置法が改正されました。改正された都市再生特別措置法では、市町村は住宅や医療施設・福祉施設・商業施設などの立地の適正化に関する計画を作成することができます。この計画を立地適正化計画といいます。

立地適正化計画はまず、適正化をする区域と基本的な方針を定めます。適正化区域は、都市計画区域内に定めなければいけません。基本的には都市計画区域全

体とします。基本方針は、計画により実現を目指すべき将来の都市像を示す必要があります。計画の達成状況を把握できるように、定量的な目標を設定することが望ましいとされています。

立地適正化計画区域は、居住誘導区域と都市機能誘導区域を定めます。そして都市機能誘導区域は居住誘導区域の中に定める必要があります。

## 居住誘導区域と都市機能誘導区域

将来的に人口が減少しても、生活サービスやコミュニティが持続できるように人口密度が維持される必要があります。居住誘導区域とは、一定のエリアで人口密度が維持されるように、居住を誘導すべき区域です。

都市機能誘導区域は、医療や福祉・商業などの各種サービスを効率的に提供できるように、これらの都市機能が集約された区域です。都市機能誘導区域は、都市の中心拠点や生活拠点に設置されます。

## その他の区域

立地適正化計画では、跡地等管理区域と駐車場配置適正化区域を設定することができます。

跡地等管理区域は、空き地が増加しているものの相当数の住宅が存在する既存集落や住宅団地などで、跡

地などの適正な管理が必要となる区域です。また駐車場配置適正化区域は、歩行者の利便性や安全性の向上のために適正な駐車場の配置をすべき区域です。

## 立地適正化計画の策定

立地適正化計画は、市町村と民間事業者、そして住民代表などの地域の関係者が議論を重ね、互いに連携して主体的に策定に取り組むことが重要です。そのための連絡調整の場として、「市町村都市再生協議会」を設置することができます。

また計画策定にあたり、公聴会の開催による住民意見の汲み取りや、都市計画審議会の意見聴取が必要とされています。さらに市町村内部では、都市部局だけではなく他部局との十分な連携や共同での検討が重要だとされています。

## 支援措置

都市再生特別措置法に関して、国からさまざまな支援を受けることができます。

例えば、居住誘導区域では、区域外の公営住宅を除去して居住誘導区域内に再建などする場合の除去費用を支援する公営住宅整備事業があります。また都市機能誘導区域では、誘導施設の整備などに対して、国から直接補助を受けることができます。

## アベノミクス

2012年12月に誕生した安倍政権が掲げた経済政策「アベノミクス」。それから3年以上が経過しました。アベノミクスでは、デフレからの脱却と富の拡大を目指して様々な経済政策が打ち出されました。いわゆる「3本の矢」と呼ばれる経済政策です。

第1の矢は金融緩和で流通するお金の量を増やして、デフレマインドを払拭する「大胆な経済政策」、第2の矢は約10兆円規模の経済対策予算によって需要を創出する「機動的な財政政策」、第3の矢は規制緩和などによって民間企業や個人が真の実力を発揮できる社会を目指す「民間投資を喚起する成長戦略」です。

## アベノミクスの効果

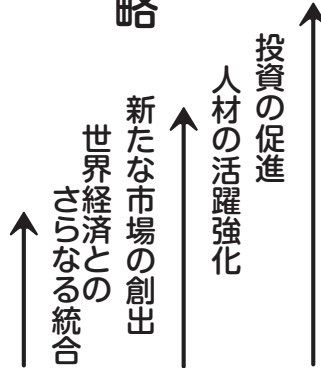
アベノミクスが始まって3年以上が経過しましたが、その効果はどれくらい表れたでしょう。

昨年5月現在のデータによると、政権発足当時に比べて、完全失業者数は61万人減少し、女性就業者数は78万人増加しました。実質GDPは2015年1月～3月期で年率2.4%の成長、企業倒産件数は24年振りに年間1万件を下回りました。

## 成長戦略

成長戦略は、①投資の促進、②人材の活躍強化、③新たな市場の創出、④世界経済とのさらなる統合の4つの視点をベースにまとめられた方策で、日本経済を

# 成長戦略 やわらか



持続的に成長させる道筋が示されています。

## 投資の促進

法人税の実効税率を引き下げることで、賃金の引き上げや国際競争力の向上を後押ししています。また先端設備の導入に対する税制優遇措置によって、企業の設備投資を促進しています。

中小・小規模企業の様々な経営課題に対応するため、全国47都道府県に「よろず支援拠点」が2014年6月に整備されました。また経営者に求められる「個人保証」の慣行を見直し、一定の条件を満たす場合には経営者は個人保証を求められないようになりました。

国が管理する空港などの運営が民間に認められるようになり、仙台空港は今年の6月から民間事業者が事業を開始することになっています。

## 人材の活躍強化

国や地方公共団体、従業

員が300人を超える民間事業主に対して、女性管理職の割合などの数値目標を設定することで、女性の活躍を推進する取組が強化されています。有価証券報告書には、役員女性の比率の記載が義務付けられました。

建設や造船の分野を学んだ外国人が国内で2～3年間働くことができるような受入制度の創設や、外国人研修生の受入制度の職種や期間、人数制限などの見直しを図られるなど、より多くの外国人が受け入れられるようになります。

## 新たな市場の創出

電力市場を2020年に完全自由化するため、電力システムの改革や高効率な火力発電の積極導入が進められます。また、一般用医薬品については、以前は第三類医薬品についてのみ認められていたインターネット販売が、ほぼすべての医薬品について認められるようになりました。

再生医療の実用化や保険外診療の範囲の拡大なども進められています。

## 世界経済とのさらなる統合

交通や都市開発の分野で海外市場に参入する事業者や、通信・放送・郵便事業などに携わる事業者を支援する仕組みが整えられています。また、貿易保険の対象を海外子会社間の国境をまたぐ取引やテロ・戦争等のリスクにも拡大し、事業者が安心して海外取引ができるような環境が整備されています。

## 骨粗しょう症

骨粗しょう症は、骨の内部がスカスカになることでろくなり、骨折しやすくなる病気です。

骨粗しょう症自体は生命を脅かす病気ではありませんが、骨粗しょう症の人が骨折することで要介護状態になる場合も多く、普段からのケアが必要な病気といえるでしょう。

骨は、普段から新陳代謝を続けています。破骨細胞が古くなった骨を数週間かけて溶かし、骨芽細胞が新しい骨を数か月かけて作ることで新陳代謝が行われています。骨を作るのに必要なカルシウムは腸から吸収されますが、加齢とともにカルシウムの吸収が悪くなり、骨密度が低下します。

特に女性は、女性ホルモンの分泌が低下すると破骨細胞の働きが強くなるため骨の形成が追い付かなくなり、骨粗しょう症になりやすいといわれます。またダイエット

による栄養不足も、骨粗しょう症の原因の1つといわれています。

さらに、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が、骨の代謝に影響を及ぼすことが明らかになっており、生活習慣病と骨粗しょう症の両方を治療中という方もいます。

この生活習慣病に関連する骨粗しょう症では、骨密度が正常に保たれている場合もあるようで、骨密度だけではなく骨質の劣化によって骨折するタイプの骨粗しょう症もあることが分かってきました。また、関節リウマチや気管支喘息といった病気の人には、長期間ステロイド薬を使用するので、骨粗しょう症にかかりやすいというデータもあります。

骨粗しょう症の予防には、食事と適度な運動が重要です。食事では、骨の材料となるカルシウムだけではなく、骨の代謝や形成に関わるビタミンDやビタミンKを十分に摂取すること、さらには食事全体の栄養バランスに気を配ることも必要です。

## エクストリーム出社

早朝から観光や登山などを行い、そのあと定刻までに出社する「エクストリーム出社」というものがあります。

出社までに行う活動は「アクティビティ」と呼ばれています。アクティビティには、これをしなければいけないという規制はありませんが、グルメ・レジャー・観光の3つに大きく分けられます。

出社までの様子をインターネットで公開し、審査員や観衆にアピールするエクストリーム出社大会も行われています。大会では、「移動」「アクティビティ」「演出」の3つの要素について採点されています。なお、出社時間に間に合わなかった場合は失格になるようです。

エクストリーム出社は、テレビやラジオなどにも取り上げられており、早朝からアクティブに動く20代から30代の社員が紹介されています。

## アニマルセラピー

動物と触れ合うことで、心が落ち着いたり、ストレスが軽減したりといった、動物を通じて人々の心を癒すのがアニマルセラピーです。古くは古代ローマ時代に、負傷した兵士のリハビリに馬が用いられていました。日本アニマルセラピー協会では、犬と一緒に養護施設や病院などを訪問し、アニマルセラピー活動を行っています。

家庭でペットを飼うことで人々が癒される効果があるようで、ドイツやオーストラリアではペットを飼うことが医療費の削減につながったというデータがあります。日本アニマルセラピー協会のホームページでは、セラピー犬が紹介されています。特別な事情でセラピー犬が必要な場合は、購入することもできるようです。

参考：日本アニマルセラピー協会HP